

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成31年4月18日(2019.4.18)

【公開番号】特開2017-175059(P2017-175059A)

【公開日】平成29年9月28日(2017.9.28)

【年通号数】公開・登録公報2017-037

【出願番号】特願2016-61870(P2016-61870)

【国際特許分類】

H 0 1 L 21/52 (2006.01)

【F I】

H 0 1 L 21/52 F

【手続補正書】

【提出日】平成31年2月28日(2019.2.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基板を搬送する基板搬送部と、  
前記基板搬送部で搬送されてきた基板にダイを接着するダイボンディング部と、  
前記ダイボンディング部でダイが接着された基板を収納するアンローダ部と  
を備えたダイボンダであって、  
前記基板搬送部は、  
前記基板が搬送されるときに前記基板の両側の端部近傍を支持するガイド面を有して前記基板をガイドする一対の基板ガイド部と、  
前記一対の基板ガイド部の前記ガイド面の上方で前記基板の厚さよりも少し離れた部分に有って前記ガイド面に沿って前記ガイド面に平行に張られた一対のワイヤと  
を備えることを特徴とするダイボンダ。

【請求項 2】

請求項 1 記載のダイボンダであって、前記一対のワイヤは、前記一対の基板ガイド部の前記ガイド面に沿って動くことを特徴とするダイボンダ。

【請求項 3】

請求項 2 記載のダイボンダであって、前記一対のワイヤは、前記一対の基板ガイド部の前記ガイド面に沿って、前記ガイド面上を搬送される前記基板と同じ速さで動くことを特徴とするダイボンダ。

【請求項 4】

請求項 3 記載のダイボンダであって、前記ガイド面に沿って前記ガイド面に平行に張られた前記一対のワイヤは、前記アンローダ部の直前で前記一対の基板ガイド部の前記ガイド面との間隔が前記ガイド面に平行に張られた部分よりも狭く形成されていることを特徴とするダイボンダ。

【請求項 5】

請求項 1 記載のダイボンダであって、前記一対のワイヤと前記一対の基板ガイド部のガイド面との間隔を調整する間隔調整部を更に備えることを特徴とするダイボンダ。

【請求項 6】

請求項 1 記載のダイボンダであって、前記基板上の異物を除去するクリーニングノズルを更に備え、前記一対の基板ガイド部に支持された前記基板を前記ガイド面に平行に張ら

れた前記一対のワイヤの上方から前記クリーニングノズルで前記基板上の異物を除去することを特徴とするダイボンダ。

【請求項 7】

基板を搬送する基板搬送部と、  
前記基板搬送部で搬送されてきた基板にダイを接着するダイボンディング部と、  
前記ダイボンディング部でダイが接着された基板を収納するアンローダ部と  
を備えたダイボンダであって、  
前記基板搬送部は、  
前記基板が搬送されるときに前記基板の下側の面の端部近傍を支持する基板ガイド部と、  
前記基板ガイド部の上方で前記基板の上側の面の端部近傍をガイドするワイヤと、  
前記基板ガイド部で支持された前記基板上の異物を除去するクリーニングノズルと  
を備えることを特徴とするダイボンダ。

【請求項 8】

請求項 7 記載のダイボンダであって、前記ワイヤは、前記基板ガイド部のガイド面に沿って動くことを特徴とするダイボンダ。

【請求項 9】

請求項 8 記載のダイボンダであって、前記ワイヤは、前記基板ガイド部の前記ガイド面に沿って、前記ガイド面上を搬送される前記基板と同じ速さで動くことを特徴とするダイボンダ。

【請求項 10】

請求項 9 記載のダイボンダであって、前記ガイド面に沿って前記ガイド面に平行に張られた前記ワイヤは、前記アンローダ部の直前で前記基板ガイド部の前記ガイド面との間隔が前記ガイド面に平行に張られた部分よりも狭く形成されていることを特徴とするダイボンダ。

【請求項 11】

請求項 7 記載のダイボンダであって、前記ワイヤと前記基板ガイド部のガイド面との間隔を調整する間隔調整部を更に備えることを特徴とするダイボンダ。

【請求項 12】

請求項 7 記載のダイボンダであって、前記クリーニングノズルは、前記基板ガイド部のガイド面に平行に張られたワイヤの上方から前記基板ガイド部に支持された前記基板上の異物を除去することを特徴とするダイボンダ。